

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 12 月 5 日(2024.12.5)

【公開番号】特開 2023-82474(P2023-82474A)
【公開日】令和 5 年 6 月 14 日(2023.6.14)
【年通号数】公開公報(特許)2023-110
【出願番号】特願 2021-196281(P2021-196281)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 B

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】
【提出日】令和 6 年 11 月 27 日(2024.11.27)
【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

外レールと内レールとの間の領域であって、発射された遊技球を遊技領域に案内する案内領域と、
遊技球が前記遊技領域から前記案内領域に戻ることを防止する球戻り防止機構と、を備え

る、
前記球戻り防止機構は、第 1 状態と、第 2 状態と、に変位可能な変位部材と、前記変位部材を保持可能な保持部材と、所定の固定部と、を有し、

30

前記変位部材は、前記遊技領域と対向する側面部と、前記側面部の先端側の先端部と、を有し、

前記先端部から前記外レールまでの距離を特定距離とすると、

前記第 1 状態は、前記特定距離が前記第 2 状態よりも短い状態であり、

前記第 2 状態は、前記特定距離が前記第 1 状態よりも長い状態であり、

前記保持部材は、前記第 2 状態において前記側面部と接する接部を有し、

遊技球は、前記第 1 状態において前記接部と前記側面部に接する場合があります、

前記第 1 状態において、遊技球と前記接部の接点から遊技球と前記側面部の接点までの距離を第 1 距離とし、

遊技球の最下点から最左点までの距離を第 2 距離とすると、

40

前記第 1 距離は、前記第 2 距離よりも短く、

前記所定の固定部は、遊技球よりも小さい、

ことを特徴とする遊技機。